



市内小中学校の 3学期制が 前期・後期制に 変わります

平成30年4月1日から市内の小・中学校は3学期制から「前期・後期制」の2学期制になります。

市教育大綱（なごさ）にあるように、子どもたちの「生きる力」を育むためには、家庭・地域・学校が協働して教育活動の充実を図る必要があります。

また、2020年度から小学校、2021年度から中学校で、学習の基本となる次期学習指導要領が全面实施となるため、子どもたちをとりまく学習環境が変わっていきます（次期学習指導要領は文部科学省HPでご覧いただけます）。

そこで、学校では、子どもたち一人ひとりに寄り添い、「対話」を大切にしながら、きめ細かな支援を行っていきます。

また、子どもたちには自分の夢や目標に向かって「挑戦し続けるたくましさ」を身につけて欲しいと願っています。そして、身近な大人が子どもたちを見届け、認め、励まし、勇気づけを行うことが、子どもたちの達成感、貢献感につながると考えています。そのための手段のひとつとして前期・後期制を実施します。



このように変わります

・前期は4月1日から10月第2月曜日まで、後期は10月の第2月曜日の翌日から3月31日までとなります。

・通知表は原則2回となりますが、長期休業前や休業中に教育相談や面談の充実を図り、子どもたちが目標を持って生活できるように子どもと向き合う時間を確保します。
・子どもたちの生活が繁忙（はんぼう）にならず、家庭・地域・学校が協働して高山市の新しい教育を進められるように、学校のカリキュラムを見直し、改善します。

問合せ先

学校教育課
☎ 35・3154

みなさんの疑問にお答えします

Q：夏休みや冬休みの期間は変わりますか？

A：長期休業の期間は、これまでと同じです。

Q：前期と後期の間に休みはありますか？

A：週休日（土日）と体育の日を合わせた3日間の連休があります。

Q：中学校の定期テストはどうなりますか？

A：原則、前期と後期それぞれに中間テストと期末テストが実施されます。

Q：中学校のテストの回数や出題範囲は、子どもたちに負担がないものですか？

A：テストの回数は、現行の定期テストの回数とほとんど変わりません。また、前期と後期は同じ位の期間（100数日程度）となります。よって、それぞれに中間・期末テストを実施し、これまでより等間隔でテストに向けた取り組みができるよう各学校で配慮して進めます。

Q：前期・後期制になることで、高校への調査書に影響がありますか？

A：公立高校の調査書には、後期期末テストの結果まで反映しますので、これまでと変わりません。

Q：学校行事や懇談の機会等は、どのように変更されますか？

A：各学校では、今回を機会に教育活動の見直しを行います。すでに先行して見直しを進めている学校もありますので、新たな変更については各学校から詳しい説明が行われます。

Q：通知表の回数が減ることによって、子どもたちの学習意欲が低下したりしませんか？

A：子どもたちの夢や願いに寄り添い、「対話」を大切に具体的な目標設定や評価を行います。結果にとらわれず取り組みの過程も見届けながら常に認め・励ます指導を中心に、子どもたちの主体性を育て学習意欲を高めていきます。

